

# 新幹線効果について

先日、議会で「西九州新幹線の開業効果」について説明がなされました。

- 【1】新幹線開業による新規の観光客数(推計) 33万9千人
- 【2】新幹線を利用した観光客による経済波及効果(推計)193億円
- 【3】公共投資・民間設備投資の経済波及効果 1737億円

また、県内各地への波及効果としては「新幹線を組み込んだ旅行商品の宿泊先」は長崎(46.9%)だけでなく佐世保(41.4%) 島原半島(7.2%) となっています。

併せて開業に伴うまちづくりの進展として、思いつく限りでも

- 長崎駅周辺 駅前広場・かもめ市場・出島メッセ・長崎マリオットホテル・ヒルトン長崎長崎スタジアムシティ
- 諫早駅周辺 バスターミナル・ホテル・商業施設・工業団地造成  
京セラ進出・大型商業施設予定
- 新大村駅周辺 商業施設・マンション・公園・車両基地

説明後、佐賀県(武雄市・嬉野市)の経済効果も算定を求めました。

もちろん、まちづくりの「負の側面」(限られたキャパでの消費や雇用の取り合い、地元企業への影響等)もあることも十分承知し、それらをカバーする方策を展開せねばなりません。このようなエビデンスのもと、全線フル規格・関西直通運航の必要性を働きかけていきます。

## 【1】開業後1年間の観光客数(推計) 33.9万人

西九州新幹線を利用して長崎を訪れた観光客数 約103万人  
うち開業を契機とした新規の観光客数 33万9千人

新幹線利用者 242万人	
新規観光客数 33.9万人	長崎への観光客以外
新幹線への転換利用者 69万人	139万人



## 【2】新幹線を利用した観光客による経済波及効果(推計) 193億円

直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
118億円	50億円	25億円	193億円
県内外からの観光客が県内で消費した観光消費額	県内のホテルやレストラン等の観光関連施設が仕入れる商品や食材など間接的な需要による効果	直接効果、一次波及効果に関する県内観光施設などの従業員が消費することによって生じる効果	

## 【3】公共投資・民間設備投資の経済波及効果 1,737億円

(単位:億円)	経済波及効果	需要発生額(直接効果)	一次波及効果	二次波及効果
公共投資	648	418	136	95
民間設備投資	1,088	698	245	145
合計	1,737	1,116	381	239

